

電腦援助

浅田 英輔 Ver.15

Googleはスゴイ

電腦援助でも何度か取り上げている、Googleのサービス。パソコンやスマホを使っている方なら、おそらく全員が恩恵を受けているのではないのでしょうか。知らずに使っている場合もあるかもしれません。紹介しきれないほどのサービスを提供していますが、今回はそのうちのいくつかを紹介してみます。



1 Gmail



何回も出てきている、Webメールです。無料で登録でき、ユーザーインターフェイスもとてもよい、使いやすいサービス。

・容量が大きい

無料で使えるのにメールボックス容量は約15GBもあります。今見てみたら、私が使い始めたのは2009年1月。7年以上メインのアドレスとして使っていて、メールを削除することはほとんどありませんが、使用量は2.8GB、16%しか使っていないようです。この容量がこれからも変更なしとは言いきれませんが、メールボックスの残り容量を気にしなくてよいというのはとて

もよいです。ちなみに、職場のメールアドレスもありますが、その容量は非常に小さくて週に1回は整理しなければ送受信ができなくなってしまう。急いでいるときに「受信できません」となるのは非常に大きなストレスとなります。しかも「容量がいっぱいです」と出たら、今書いているメールを削除しなければならないのです！おそろしい！

- ・どこでも使える

パソコンはもちろん、スマホでも同じアドレスが使えます。また、ユーザーIDとパスワードさえあれば、職場でも友達のうちでも人のパソコンでもみることができます（もちろん、自分で管理していないパソコンにパスワードを入れるということは、セキュリティの問題を気にする必要があります）。ソフトをインストールするわけではなくブラウザ上で使えるので、人のパソコンの中身をいじらなくてもよいのも大きいです。職場のパソコンにソフトをインストールするのが制限されていることがありますよね。そういうときにも使えるのです。

また、私はスマホに入っているデータをパソコンに送りたいときなどに、自分あてに添付ファイルでメールを送ったりします。もっとスマートな方法がありそうですが、とりあえずの対応としては役に立つ方法です。容量を気にしなくていいので、メモ的なものをフォルダに振り分けて自分あてメールしておく、という使い方もいいですね。

- ・使いやすい

細かなアップデートを重ねてきており、非常に使いやすいです。もちろん、使い慣れているから使いやすいという部分も大きいのですが。

まず、下書きがすぐに残るというのは助かります。特別に保存しなくても、書きかけのメールは自動で残っています。たまに下書きがたくさん残っていて困る事はありませんが。

あとは、迷惑メールの振り分けが優秀であるということ。Gmailを使っていて迷惑メールを目にする事はほとんどありません。「迷惑メールフォルダ」をみると、1日15通くらい迷惑メールがきていました。iPhoneでもメール通知がきますが、当然、迷惑メールがきても通知はこないし、きていることに気づかないくらいです。迷惑メールフォルダにあるメールは30日で勝手に消してくれます。今見たら583通のメールがありました。30日でこれくらいいきているようです。

・アカウントはいくつでも作れる

GMailに限ったことではないですが、用途ごとにいくつでもアカウント（メールアドレス）が持てるのもよいところです。自分の個人用のアドレスのほか、問い合わせ用だったり、団体用だったり使い分けができます。団体用のアドレスなんかだと、後任に引き継ぐのも楽になります。PTA用に1年間使うアドレスがあってもいいかもしれません。アカウントとパスワードさえ知っていれば、複数人で共有することもできます。

繰り返しますが、アカウントやパスワードの管理には十分注意が必要です。

2 Google Chrome

無料のWebブラウザです。

※ Webブラウザとは

パソコンでもスマホでも、基本機能（OS）の上に、さまざまなソフトがインストールされて初めて使えるようになっています（[電腦援助ver.3.0](#)参照）。WindowsというOSにMicrosoft Wordをインストールすると、文章をきれいに作れるようになる、といった具合です。「ソフト」「ソフトウェア」「アプリケーション」「アプリ」「App」などと呼ばれるが、大まかに言えばこれらは同じものを指します。Word、Excelもそうですし、InternetExplorerもそうです。あとは筆ぐるめや、iTunesもそうですし、ゲームもこれに含まれます。

また、Wordはワープロソフト、Excelは表計算ソフト、ドラクエVIIはゲームソフトとも言えます。その中のひとつのジャンルとして、Webブラウザがあります。つまり、Webブラウザは「インターネット閲覧ソフト」と同義です。ワープロソフトにWordや一太郎があるように、Webブラウザも種類があります。現在多く使われているのは、InternetExplorer、GoogleChrome、FireFoxなどです。Windows10とともにEdgeというブラウザもきましたね。その中でも、GoogleChomeは起動がはやく、動作が軽いとされています。

以前はInternetExplorerは重くてダメという話もありましたが、今はそれほど違いが大きいように思います。Chromeの大きな利点は、ログインして使うことによって、お気に入りなどを保存できることと、拡張機能がたくさ

んあるということです。上に書いた、Gmailのアカウントとパスワードで、自分だけのChromeが使えるのです。

自分だけのだと何がいいか。まずはお気に入りが使えます。家でも職場でもスマホでも、同じお気に入りが使えるのです。また、拡張機能も同じものが使えます。私はパスワード管理ソフトやEvernote、pocketなどの拡張機能を使っていますが、これもいちいちインストールしなおす必要がないのが助かります。一番役に立つのは、家のパソコンを買い替えた時です。ブラウザを自分好みに設定し直す手間がないのはとても魅力的なのです。

3 Googleカレンダー

CALENDAR



無料のカレンダーです。予定を書き込んだりできます。

これも同じように、家でも職場でもスマホでも同じものが見られるというのが大きい利点。職場で使っている（使われている）予定表は、職場でしかみられないかもしれません。これであれば、スマホでも読み書きできるのです。

そしてスゴイのはここ。私は出張などの交通手段や宿泊先をじゃらんで頼むことが多いのですが、ネットで予約すると確認メールがきたりしますよね。それを読み取って、カレンダーに追加してくれるのです！すごい！確認できたのは、予約した電車、飛行機、ホテルです。飛行機なんかは「何時発だっけ」と何回もメールを見直していたので、これが勝手に入ってくれるのはとても便利です。



ホテルの予約とフライトが自動で登録されています。

あとは、カレンダーというものは使い勝手はもちろん大事なのですが、いつも見るものですから見た目も結構大事です。Googleカレンダーのよいところは、これに連動するアプリがたくさん出ているところです。スマホアプリなどで「Googleカレンダー対応」などとなっている場合、見た目は別でもGoogleカレンダーにつながっているので、スマホでは別アプリ、パソコンで

はGoogleカレンダーで見ても同じ予定表になります。私はスマホではAwesomeNoteというアプリを気に入って使っています。

4 Googleフォト



写真管理サービスです。これまたいろんなものがありますが、スゴイのは容量無制限なところ。写真をいくら入れても無料です（2016年5月現在）。一枚の写真の大きさ制限はありますが、本当に高解像度が必要な写真はそれほど多くないはず。家族の写真などは、高解像度よりも「いつでもみれること」が大事だったりしますよね。

また、最近はスマホで写真をとる人も多いと思います。設定をすれば、このアプリを立ち上げるとすぐに写真を保存してくれます。保存さえされていればいい（高解像度のものがいらぬ）のであれば、スマホ本体の写真も簡単に消してくれます。スマホの容量が写真で圧迫されている人にはなおさらおすすめです。

これもこれまでと同じように、スマホ、パソコンで同じ写真をみることができます。

意外に楽しいのが「アシスタント」の機能。同じ日の写真を集めてアルバムを作ってくれたり、「同じ日の思い出」（例えば、4年前の今日）を表示してくれるのは楽しいです。集まった時の写真などを、リンクを教えることで共有することもできます。写真がたくさん添付されたメールって容量が大きいし、どの写真を送るか迷ったりもします。でもこの共有機能を使えば、全部送っちゃってもいいのです（正確には、送るというよりもアルバムの入り口を教える）。

5 Googleドライブ

Googleフォトと似ていますが、こちらは何のファイルでも保存可能で、容量には上限があります。そうは言っても、無料の容量は15GBもあります。写真はGoogleフォトで保存するので、それ以外のものであれば、15GBもあれ

ば結構な容量かと思います。大容量が必要な場合は有料プランも用意されています。写真はフォト、その他のドキュメントなどはドライブ、といった使い分けをすると便利です。

6 連絡先、ハングアウト



この2つは、Gmail付属的な感じではあります。Gmailの画面に表示されていますが、メールアドレスをまとめる連絡先と、登録されている人にインスタントメッセージを送ることができるハングアウトはとても便利です。

携帯電話の機種変更をして、連絡先が消えてしまって困ったことはあると思います。結構あるはずですが、でもGmailをメインに使っている場合は、何の問題もありません。連絡先をバックアップしたり、移行したりする手間もなく、新しいスマホでアカウントとパスワードの設定さえすれば、すぐに前のまま使えるようになるのです。

また、昨今はEメールでさえ煩わしさを感じ、LINEでのやりとりが楽になってきていますよね。でもスマホは持っているけどLINEはなんとなくやだ、という人もいるかもしれません。また、パソコンでChromeを入れてログインしている場合は、どのパソコンでもすぐにインスタントメッセージのやりとりができるようになるという点でハングアウトは優れています。

7 Googleマップ



地図はいろいろな場面で使っていると思います。普通に地図として使えるほか、ナビとしても優秀ですし、場所を示すのにリンクを貼ることもできます。

青森県庁

ここにいるよ、と教えるときにも使えます。

出発地と到着地の距離も調べることができます。

さらに。

エクセルで住所と名称のデータファイルがあると、自分だけのマップを作ることができます。これは、青森県のオストメイトマップです。この機能、意外に便利なのです！これを、自分の



iPhoneのホーム画面に置くこともできるので、ワンタッチでアクセスすることができるのです。

おいしいレストランリストを作ってもいいかもしれません。

8 その他様々なWebサービスの登録

世の中にはいろいろなWebサービスがあり、そこではいつも「登録」が求められます。何をするにも「IDとパスワードを設定せよ」と言われますよね。また、メールアドレスの登録を求められることも多いですが、そういうときに「FacebookのIDでログイン」とか「Googleアカウントでログイン」というのが表示されるのをみたことはないでしょうか。いちいちメールアドレスを入れなくとも、Googleアカウントをそのかわりにできるのです。例えば、YouTube(これもGoogleのサービスのひとつだが)はGoogleアカウントでログインすることで、お気に入りや履歴を一元管理でき、便利に使えるようになっている。Googleアカウントでログインする機能がなくとも、Gmailで登録すると管理が楽になる。また、新規サービスなど、いわゆる「怪しいもの」については、いつも使っているアカウントではなく「テスト用アカウント」を使うということもできる。

○なぜ無料なのか



これだけ広く使われているということは、Googleは非常に大量のデータを持っているということになります。データというのは、メールアドレスだけでなく、年齢、性別、住んでいるところ、趣味嗜好、どこに行く人なのか、どういう予定を入れる人なのかといったもろもろのデータです。その分量は想像もつきません。今の世の中では、大量のデータはそれだけで価値があります。それに加えて、Googleはそのデータの解析に非常に力を入れています。つまり、大量のデータがあり、それを活かした広告が打てるということなのです。効果的な広告は、企業にとって大変に魅力的な媒体です。その上、webページ、動画などいろいろな方法が使えるのです。

○危険性はないのか

- ・クラウドの危険

ほとんどのものが「クラウドストレージ」を使用しています。大雑把にいうと、様々な情報がインターネット上に保存されるということです。詳しい技術はわかりませんが、「世界のどこかにあるGoogleの巨大HDDセンターに、あなたの情報が大量に保存されている」ということです。もちろん、セキュリティには万全が期されていますし、誰でもアクセスできるわけではありません。上記のように、Googleは広告収入で成り立っていますので、セキュリティにはかなり気を使っていると思います。凄腕のハッカーに「あなた」がピンポイントで狙われたらダメでしょうが、簡単に流出することは考えにくいです。もし情報流出が起きるとしたら、担当者のパソコンが盗まれるとかそういった物理的な形かと思います。とは言っても、様々なデータが自分の手元ではないところで管理されるということですし、絶対はありません。

・一元化している危険

また、機能的にセキュリティの問題がなくとも、これだけ一元化したサービスを使うということは、一つのIDとパスワードを盗られると、全ての情報をみることができるということでもあります。クレジットカード情報なども入っていたりすると、さらに危険は高まります。



そう考えると、危険がないとは言えません。「管理するのが誰なのか」といった違いはあるでしょうけど、むしろマイナンバーなんかよりもよっぽど危ない気がします。ただ、本当にただの感覚的なものですが、セキュリティ面としては、Googleのほうが信用できる気さえします。

○Googleロゴについて

余談ですが、今回の記事を作るにあたり、紹介したサービスのアイコンを入れたいと思いまして、例によって規約を調べてみました。「[Google Documentation & Support](#)」に書いてあります。「Googleのアイコンやロゴは、導入にあたって組織内向けに作成した資料で使用してください。」だそうです。つまり、一般向けに使ってはいけない。ただし、トップページと検索結果ページは、いくつかの注意事項はありますが、使っても良いようです。(よく調べずに画像検索画面を使っていました。あぶない)

○統合的Webアプリケーション

WebメールもWebストレージも、地図にしても画像アプリにしても、他にも便利なサービスはたくさんあります。別のサービスのほうがよい点もいくつかもあります。ただ、全てが連動しているものはほかにありません。全てをメールに送ることができ、共有でき、保存できるという点がすぐれているといえます。さらに、使っている人が多いということは、同じツールで共有しやすいということです。また、パソコンでもスマホでも、他の人のパソコンでも同じものが使えるというのはとても大きい利点です。

また、これらがWeb上にあるので、自分のパソコンにはほとんどデータがありません。私の家のパソコンには「外付けハードディスク」をつないでいて、そこにデータのほとんどを入れているので、パソコンの再インストールをするときも、データの退避はほとんど必要ありません。MicrosoftOfficeなどのインストールしているソフトを入れ直す手間はかかりますが、大事なデータも、Webブラウザの設定も、いじる必要はなくもとの環境にすることができます。

インストール作業をせずにWeb上で使えるものを「Webサービス」「Webアプリケーション」と呼んだりしますが、Googleのサービスは最強の統合Webアプリケーションといえるでしょう。今回紹介したサービスはほんの一部で、きちんと使えばさらに楽しい世界が開けることでしょう。

どう使うにしろ、自分がラクできるように、自分が使って楽しめるように使いたいですね。

LET'S Google !



疑問・感想は dennouenzyo@gmail.com まで!